令和8年度法務省人権啓発活動地方委託事業
【主催】群馬県／前橋地方法務局／群馬県人権擁護委員連合会／群馬県人権啓発活動ネットワーク協議会
【制作】NPO 法人たかさきコミュニティシネマ

群馬人権映画祭 オンライン上映会

Human Rights Movie Festival in Gunma 2026

ヒューマンライツ・ムービーフェスティバル in ぐんま

2026. 12.13 [sun] オンライン開催

申込制：無料（先着 500 名限定）

申し込み方法：専用フォームからお申し込みください。
申込期間：11 月 7 日（土）から 12 月 9 日（水）23:00 まで。
定員に達し次第申し込み終了

映画の配信は、お申込みいただいた方へ視聴方法を前日までにご案内いたします。



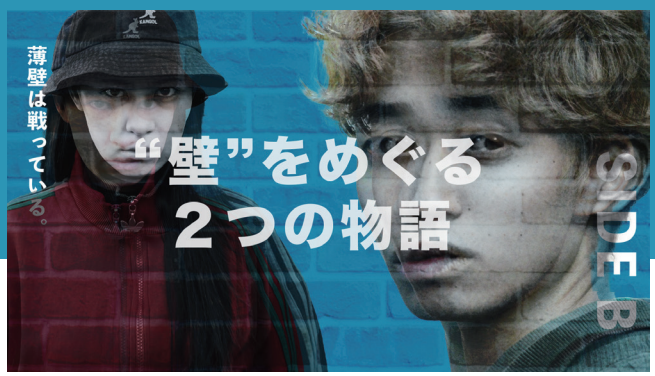
人権イメージキャラクター
人 KEN まもる君

人権イメージキャラクター
人 KEN あゆみちゃん

【配信作品】 2026 年 12 月 13 日 0:00 から 23:59 まで限定配信

上映 1
『薄壁は戦っている』
監督：飯塚花笑（2026 年 45 分）

上映 2
『サイド B』
監督：飯塚花笑（2026 年 23 分）



トーク 1
理解と尊重
飯塚花笑監督

トーク 2
理解と尊重は表現者をどう導くか
飯塚花笑監督 × 堀家一希（俳優）× 泰平（俳優）

オンラインにて上映を行います。申込方法や上映作品の詳細については、特設 WEB サイトにてご確認ください（右記 QR コードまたは以下の URL からアクセスいただけます。
申し込みフォームから必要事項を入力・送信後、受信確認で返信メールをお届けします。
お申込みから 3 日以内に返答がない場合は たかさきコミュニティシネマまでご連絡ください。
URL: https://hrmf-gunma.com/

【お問い合わせ先】
企画に関するお問い合わせ：群馬県生活こども部生活こども課人権同和係　TEL.027-898-2687 / seikatsuka@pref.gunma.lg.jp
作品や申込に関するお問い合わせ：たかさきコミュニティシネマ（シネマテークたかさき）　TEL.027-325-1744 / info@hrmf-gunma.com

Human Rights Movie Festival in Gunma 2026

「人権」は、誰にとっても身近で大切なものです。しかし、「人権の世紀」と言われる２１世紀になった現在でも、同和問題を始め、女性に対する暴力、いじめや児童虐待、高齢者・障害者に対する偏見や差別など、様々な人権問題が依然として起きています。また、最近ではインターネットによる人権侵害やヘイトスピーチ、LGBTQ 等の性的少数者に対する偏見や差別など新たな課題も発生しています。こうした中、群馬県では「人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画」に則り、県民一人一人の人権を尊重し、だれもが暮らしやすい社会を作るため関係機関等と連携し施策を推進しております。今回の「ヒューマンライツムービーフェスティバル in ぐんま」はこうした取組の一環として開催するものです。県民のみなさんが広く、どこでも、だれでも、参加可能なイベントを目指し、オンライン開催といたしました。2021 年の初開催以来、毎年世界人権デー（12 月 10 日）に合わせて実施しています。

『薄壁は戦っている』

監督：飯塚花笑（2026 年 45 分）

撮影：加藤航平
出演：由利綾 / 徳山華乃 / ジャスミン / 馬目羽琉 / 曽我一耀 / 佐伯瑞朋 / 中川凌玖 / 船生真菜美 / 今井高之 / 酒井清仁 / 藤井美音 / 山崎悠稀 / 河邊一敏

世界に対して常に怒っている役者志望の青野純。世間から求められるのは、わかりやすいお芝居、清廉潔白な女性像に、親孝行や女性らしさ。名前や人種、属性で人を判断する世の中に苛立つ青野だが、そんな青野の住む部屋にある日から怪しい音が聴こえ始める。その音の正体とは…。



『サイド B』

監督：飯塚花笑（2026 年 23 分）

撮影：加藤航平
出演：荒木一帆 / 早倉由莉 / 藤田裕衣 / 森内春花 / 藤ヶ谷依李香 / 卯都木蓮 / 蔵本りん / 永理 / 小島穂乃花 / 柴山日菜多 / 田中美鈴

都内の美大に通う畑中宏太（20）。大学生活もサークル活動も大方満足していたが、付き合って半年になる彼女、神崎なおとの関係がなかなか進展しないことだけが悩みだった。彼女に受け入れられない不安と苛立ち。予想していなかった事実にショックを受ける宏太。それぞれがもつ”当たり前”のちがいにすれちがう 2 人。2 人に別れの危機が訪れるが…。



作品制作の背景

本作は、飯塚花笑 監督が指導する東京の俳優スクールの学生たちとワークショップの中で作り上げた作品。テーマを「壁」として、スクール生達が脚本を作り、飯塚監督指導のもと、２作品を書き上げた。若者達がかかえている、言語化しきれない感情・不安やモヤモヤ、そして社会に対して日頃感じている鬱憤や吐き出したい感情等に向き合った短編になっている。

トークゲスト プロフィール



監督

飯塚 花笑

1990 年生まれ。群馬県前橋市出身。大学在学中にトランスジェンダーである自らの経験を元に制作した『僕らの未来』が、ぴあフィルムフェスティバルにて審査員特別賞を受賞。2022 年に『フタリノセカイ』で劇場公開デビュー、翌年の『世界は僕らに気づかない』では大阪アジアン映画祭にて＜来るべき才能賞＞を受賞した。2025 年には『ブルーボーイ事件』を発表。東京国際映画祭のガラコレクションで公式上映され、アメリカ・シカゴで行われた第 20 回アジアンポップアップシネマにて、長編部門グランプリを受賞。国内外で高い評価を得ている。自身の経験と幅広い見識で、LGBTQ やさまざまな側面からの人権問題について高い関心を持ち、講演等も積極的に行なっている。



俳優

堀家 一希

1997 年生まれ、岡山県出身。
主な出演作として、ドラマ「君と世界が終わる日に」(NTV)、「俺のスカートどこ行った？」(NTV)、「初めて恋をした日に読む話」(TBS)、映画『泣くな赤鬼』(兼重淳監督)、『東京リベンジャーズ 1.2』(英勉監督) など。
2023 年に公開された『世界は僕らに気づかない』(飯塚花笑監督) では、第 37 回高崎映画祭最優秀新進俳優賞受賞。テレビドラマ・映画・舞台と多方面で活躍。2026 年公開作には、映画『開戦前夜』(石井裕也監督) に出演。ドラマでは、「俺たちの箱根駅伝」(NTV)、にも出演中。幅広いキャラクターを引き受ける若手注目株俳優。



俳優

泰 平

前橋市出身。俳優として活動する中で、当事者を対象とした『ブルーボーイ事件』の主人公サチ役のオーディションに参加。飯塚花笑監督に見出され、ノンバイナリーのツカサ役として抜擢される。出演シーンは多くはないものの、重要な役どころとして映画の中に存在し印象を残す。今後の活躍が期待される。